

# 2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年10月31日  
株式会社電通国際情報サービス

2015年3月期第2四半期決算概況

# (1)2015年3月期 第2四半期 連結業績

(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期	前年同期との比較			2014/5/12発表予想との比較		
		前年同期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
売上高	35,823	35,087	+736	+2.1%	34,700	+1,123	+3.2%
売上総利益	9,779	10,619	▲840	▲7.9%	-	-	-
売上総利益率	27.3%	30.3%	▲3.0p	-	-	-	-
販管費及び一般管理費	8,906	9,370	▲464	▲5.0%	-	-	-
営業利益	872	1,249	▲377	▲30.2%	820	+52	+6.3%
営業利益率	2.4%	3.6%	▲1.2p	-	2.4%	▲0.0p	-
経常利益	981	1,505	▲524	▲34.8%	870	+111	+12.8%
四半期純利益	534	931	▲397	▲42.6%	540	▲6	▲1.1%

**【予想比】** 金融、インタープライズを中心に増収。ソフトウェア製品開発の原価増等があったものの、売上増および販管費抑制で吸収し、営業利益も予想を上回る。

**【前年比】** 電通向けの反動減を、金融、インタープライズの拡大によりカバーし増収。一方、円安影響ならびにソフトウェア製品開発の原価増があり、営業利益は減益。

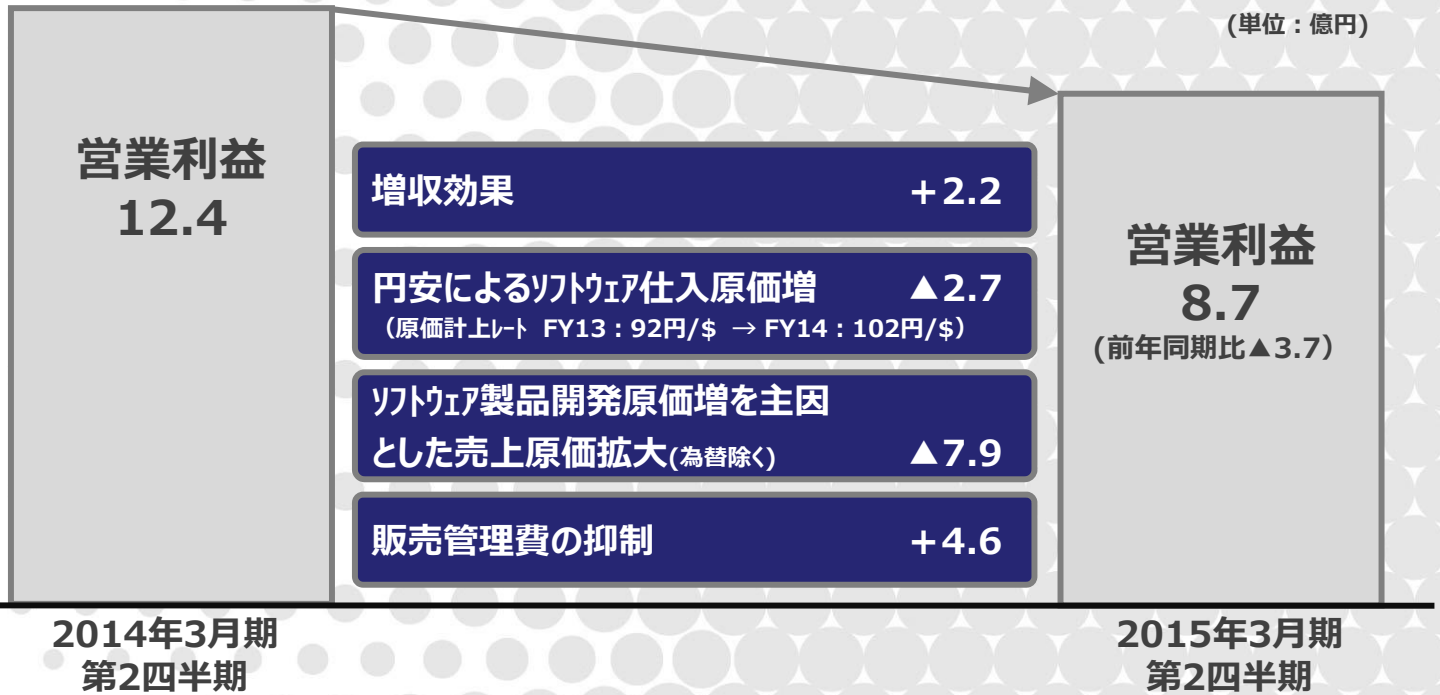
**【配当】** 中間配当12円(前年同期10円)、年間合計24円(前期22円)の配当を予定

## (2)-1 営業利益 【予想比】

(単位：億円)



## (2)-2 営業利益【前年同期比】



## (3)セグメント別 連結売上高

(単位：百万円)

	2015年 3月期 第2四半期	前年同期との比較			2014/5/12発表予想との比較		
		前年同期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
金融ソリューション	10,738	10,557	+181	+1.7%	10,090	+648	+6.4%
インタープライズソリューション	16,830	15,327	+1,503	+9.8%	16,354	+476	+2.9%
ビジネス系	6,896	5,943	+953	+16.0%	6,444	+452	+7.0%
エンジニアリング系	9,934	9,383	+551	+5.9%	9,910	+24	+0.2%
コミュニケーションIT	8,254	9,203	▲949	▲10.3%	8,254	▲0	▲0.0%

### 【前年同期比】

- 金融 効バンク向けの海外拠点システムや市場系システム等が拡大
- インタープライズ ビジネス系は、「POSITIVE」および基幹システムの大型案件を中心に拡大  
エンジニアリング系は、MBDのコンサルおよび「iQUAVIS」を中心に拡大
- コミュニケーションIT 電通向け基幹システム構築案件のピークアウトにより減収

POSITIVE : 人事管理ソリューション  
MBD : モデルベース開発  
iQUAVIS : 構想設計ソリューション

## (4)サービス品目別 連結売上高

サービス品目	2015年 3月期 第2四半期	前年同期との比較			2014/5/12発表予想との比較		
		前年同期	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,633	1,297	+336	25.9%	1,472	+161	+10.9%
受託システム開発	10,669	12,083	▲1,414	▲11.7%	10,106	+563	+5.6%
ソフトウェア製品	5,750	4,750	+1,000	+21.1%	6,228	▲478	▲7.7%
ソフトウェア商品	10,610	10,837	▲227	▲2.1%	10,599	+11	+0.1%
アウトソーシング・ 運用保守サービス	3,509	3,322	+187	+5.6%	3,546	▲37	▲1.0%
情報機器販売・その他	3,649	2,795	+854	+30.6%	2,745	+904	+32.9%

### 【前年同期比】

コンサルティング	MBDに関するコンサルティングサービスが主として自動車業界向けに拡大
受託システム開発	電通向け大型案件の反動減
ソフトウェア製品	「POSITIVE」、「iQUAVIS」、「BusinessSPECTRE」、「iPLAss」等が拡大
ソフトウェア商品	「SAP ERP」等の基幹システム系ソフトが減少
アウトソーシング	電通グループ向けが拡大
情報機器他	全セグメントで拡大

BusinessSPECTRE：SAPデータ連携フレームワーク  
iPLAss：マーケティング・プラットフォーム

## (5)連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2014年4月～ 2014年9月	2013年4月～ 2013年9月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	5,412	2,888	+2,524
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,537	▲1,132	▲405
財務活動による キャッシュ・フロー	▲951	▲900	▲51
現金及び現金同等物に 係る換算差額	174	76	+98
現金及び現金同等物の 増減額 (▲は減少)	3,097	932	+2,165
現金及び現金同等物の 期首残高	12,849	11,459	+1,390
現金及び現金同等物の 期末残高	15,947	12,392	+3,555

### <今期のトピック>

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
  - 税金等調整前四半期純利益 (+981百万円)
  - 減価償却費 (+1,803百万円)
  - 売上債権の減少 (+3,717百万円)
  - 前受金の増加 (+2,628百万円)
  - 前渡金の増加 (▲1,236百万円)
  - たな卸資産の増加 (▲709百万円)
  - 法人税等の支払額 (▲1,249百万円)
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
  - ソフトウェア等の固定資産の取得による支出 (▲1,518百万円)
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
  - リース債務の返済による支出 (▲551百万円)
  - 配当金の支払額 (▲390百万円)

## (6) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期末	前期末 2014/3/31	前期末 からの増減	前期末からの増減の主な要因
流動資産	41,798	40,287	+1,511	現金及び現金同等物の増加 (+3,097)、前 渡金の増加 (+1,246)、たな卸資産の増加 (+728)、売上債権の減少 (▲3,694)
固定資産	18,430	18,590	▲160	有形固定資産の減少 (▲199)
資産合計	60,228	58,877	+1,351	
流動負債	18,743	17,387	+1,356	前受金の増加 (+2,658)、未払法人税等の 減少 (▲727)、仕入債務の減少 (▲313)
固定負債	2,193	2,625	▲432	リース債務の減少 (▲334)
負債合計	20,936	20,013	+923	
純資産合計	39,292	38,864	+427	四半期純利益の計上 (+534)、剰余金の配 当 (▲390)、為替変動等によるその他の包括 利益累計額の増加 (+289)
負債純資産合計	60,228	58,877	+1,351	

- 9 -

## (7) 受注・受注残高

(単位：百万円)

	受注高		受注残高	
	2015年3月期 第2四半期	前年同期比	2015年3月期 第2四半期末	前年同期比
合計	20,468	+5.3%	9,033	+4.3%
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	▲6.0%	3,158	▲22.4%
	インターネットソリューション	+63.0%	3,878	+97.5%
	コミュニケーションIT	▲24.0%	1,995	▲24.1%
サービス品目別 内訳	受託システム開発	▲2.6%	5,131	▲10.3%
	ソフトウェア製品パッケージ開発	+60.7%	2,553	+53.7%
	ソフトウェア商品パッケージ開発	▲6.3%	1,347	+5.1%

受注・受注残は、当社のサービス品目のうち、受託システム開発、ソフトウェア製品およびソフトウェア商品のパッケージ開発のみが対象です。  
コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス、ライセンス保守、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器等は含まれておりません。

- 10 -

# ◆ 2015年3月期 連結業績予想

- ✓ 第2四半期は前年同期比増収減益となりましたが、売上高は計画を上回って推移しています。利益面では、ソフトウェア製品開発における原価の増加を、売上高の計画比増収ならびに販管費の抑制等により吸収し、概ね計画通りに推移しています。
- ✓ 受注・受注残も堅調に推移していることから、通期の業績予想について、2014年5月12日に発表した予想から修正はありません。

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期との比較			通期業績予想に対する上期進捗率
		前期実績	増減額	増減率	
売上高	76,200	73,970	+2,230	+3.0%	47.0%
営業利益	4,500	4,309	+191	+4.4%	19.4%
営業利益率	5.9%	5.8%	+0.1p	-	-
経常利益	4,670	4,766	▲96	▲2.0%	21.0%
当期純利益	2,960	2,871	+89	+3.1%	18.0%

# ◆ セグメント別 連結売上高予想

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期との比較			通期業績予想に対する上期進捗率
		前期実績	増減額	増減率	
金融ソリューション	22,677	22,262	+415	+1.9%	47.4%
エンタープライズソリューション	35,879	32,995	+2,884	+8.7%	46.9%
ビジネス系	14,458	12,736	+1,722	+13.5%	47.7%
エンジニアリング系	21,420	20,259	+1,161	+5.7%	46.4%
コミュニケーションIT	17,643	18,712	▲1,069	▲5.7%	46.8%
合計	76,200	73,970	+2,230	+3.0%	47.0%

# ◆ サービス品目別 連結売上高予想

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期との比較			通期業績予想に 対する上期進捗率
		前期実績	増減額	増減率	
コンサルティングサービス	3,359	3,136	+223	+7.1%	48.6%
受託システム開発	21,893	23,891	▲1,998	▲8.4%	48.7%
ソフトウェア製品	15,241	11,009	+4,232	+38.4%	37.7%
ソフトウェア商品	22,717	22,258	+459	+2.1%	46.7%
アウトソーシング・運用保守	7,144	6,855	+289	+4.2%	49.1%
情報機器販売・その他	5,843	6,818	▲975	▲14.3%	62.5%
合計	76,200	73,970	+2,230	+3.0%	47.0%

中期経営計画進捗状況  
～上期トピックス～

## ISiD Open Innovation 2016 価値協創 Progress to the Future

対象期間	業績目標
2014年4月～2017年3月	2017年3月期 売上高 850億円 営業利益 60億円 営業利益率 7.1%
基本方針	
①競争優位性の追求 ②新たなビジネス領域の開拓 ③人材力強化	

# 金融リノベーション

中計戦略	競争優位性の追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大手金融機関のグローバル展開や規制強化対応支援を拡大</li> <li>●決済システム更改や市場慣行整備に的確に対応</li> <li>●地域金融機関の業務改革の実現を積極的に支援</li> </ul>
	新ビジネス領域の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ビッグデータやクラウドを活用した新しい金融サービスを創出</li> <li>●金融ベンチャー等との連携から新規ビジネスを創出</li> </ul>

2014上期トピックス

- ◆ メガバンクの海外拠点システム、市場系システムの引合拡大
- ◆ 新日銀ネット第二段階対応の決済ソリューション「Stream-R」～製品開発を完了し予定通りリリース
- ◆ 地域金融機関向けソリューション「BANK・R」～販売強化策として基幹システムベンダーとの協業推進
- ◆ 国債取引照合ファイル交換サービス～銀行、証券会社30社超で稼働

### ■ 売上高目標

FY14 通期予想 226億円 → FY16 中計目標 250億円

### ■ FY14上期業績

	実績(億円)	前期比
売上高	107	102%
受注高(*)	83	94%
受注残高(*)	31	78%

(\*)一部のサービス品目のみが対象



# インタープライズソリューションセグメント

中計戦略

## 競争優位性の追求

- 自動車業界におけるMBDソリューション領域のNO.1プレイヤーになる
- ものづくり革新支援のグローバル展開(日本含むアジア地域)
- グローバル・外注マネジメント・ソリューション強化
- 会計、原価・生産管理系ソリューション強化

## 新ビジネス領域の開拓

- 製造業の設備保全、故障予測領域等ビッグデータによる新ビジネス創出
- ライフサイエンス分野における新たなビジネスの創出

2014上期トピックス

- ◆自動車業界への更なる注力  
～革新的製品開発に向け自動車産業におけるMBD導入が本格化  
～iQUAVISの導入が大手自動車メーカーで加速
- ◆ISIDIエンジニアリング設立(7/1)  
～MBDのための「機能エンジニアリングサービス」提供開始
- ◆人事管理「POSITIVE」  
～外注マネジメント機能追加、代理店販売も強化
- ◆国際会計基準(IFRS)対応案件の増加  
～グローバル大手企業を中心にIFRS検討が進んでおり、連結会計ソリューション「STRAVIS」等の引合拡大

### ■売上高目標

FY14 通期予想	→	FY16 中計目標
358億円		400億円

### ■FY14上期業績

	実績(億円)	前期比
売上高	168	110%
受注高(*)	76	163%
受注残高(*)	38	198%

(\*)一部のサービス品目のみが対象

# コミュニケーションITセグメント

中計戦略

## 競争優位性の追求

- 電通協業のさらなる加速  
(「公共」「CRM」「街ビジネス」等の領域で協業を加速)
- 電通グループの基幹システムのさらなる高度化を支援

## 新ビジネス領域の開拓

- マーケティング系ビッグデータを活用し、電通と協業で新ビジネス領域を開拓
- オムニチャネル、アドテクノロジー分野での事業創出
- 映像ソリューションを活用したスポーツ関連ビジネスの開拓
- 電通協業モデルの海外ロールアウト推進

2014上期トピックス

- ◆2020年に向け、電通協業をさらに加速  
～案件上流から関与すべく電通内に技術部隊の常駐開始  
～電通・電通グループの関連組織と連携強化

	FY13上期	FY14上期	前年同期比
電通協業売上	24.4億円	22.9億円	93.9%

- ◆O2Oプラットフォーム「+fooop! connect」引合拡大  
～渋谷マークシティでの試験運用スタート
- ◆電通グループの基幹システム支援 ～大型更改案件リリース完了



### ■売上高目標

FY14 通期予想	→	FY16 中計目標
176億円		200億円

### ■FY14上期業績

	実績(億円)	前期比
売上高	82	90%
受注高(*)	44	76%
受注残高(*)	19	76%

(\*)一部のサービス品目のみが対象

# 新たなビジネス領域の開拓～ビッグデータ活用による新ビジネス創出～

## 中計戦略

あらゆるモノがネットで繋がり集積されるビッグデータを活用し、顧客のビジネス革新を支援

### ものづくり革新

- **ビッグデータ解析による知的保全ソリューション**
  - 米国プロテクトロクス社と資本・業務提携、ビッグデータ解析をベースとした予知保全サービス推進
  - 大手製造業・自動車導入が進む



### 金融サービス革新

- **WEB接客サービス「ライブエンゲージ」**
  - WEB上のユーザー行動をリアルタイムに解析し、その場で最適な情報へと導くソリューション
  - ライフネット生命、みずほ銀行が採用



### マーケティング革新

- **データ分析を用いたマーケティングサービス提供**
  - セブーン銀行
    - 全面リニューアルした「デジタルバンキングサービス」にサービス提供～新規口座開設件数やカードローン申込み件数などが大きく伸長
  - 運輸・サービス会社
    - 収益最大化のための各種予測モデル構築中

### インフラ

- **IoTインフラ『SynapSensor』開発**
  - スマホだけでなく、多種多様なウェアラブルデバイスとの接続に対応するセンサープラットフォーム
  - “プラグアンドプレイ”である920MHz帯と2.4GHz (BLE)通信により、安定・大規模ネットワークを実現

BLE : Bluetooth Low Energy

# 新たなビジネス領域の開拓～先端技術の活用～

## 中計戦略

先端技術・サービスを組み合わせた新規ビジネスの創出を継続的に推進



- **まちプラットフォーム「+fooop!」の進化**
  - グランフロント大阪(GFO)の実証実験継続
  - GFO、フランス・バルトワーズ県との実証実験で得たノウハウをベースに、2020年に向けて各地で進む街づくりへの参画を狙う

### ● スポーツ&ライフテクノロジーラボ 発足

- ユーザーインターフェース研究の世界的権威、東京大学暦本教授を招聘
- スポーツやヘルスケア領域における先進のインタラクション技術を融合し、スポーツを核とした新しい街づくりに取り組む

### ● 教育ITプラットフォーム「edumame」

- 立命館守山中学・高校とアダプティブラーニングの実践プロジェクトスタート



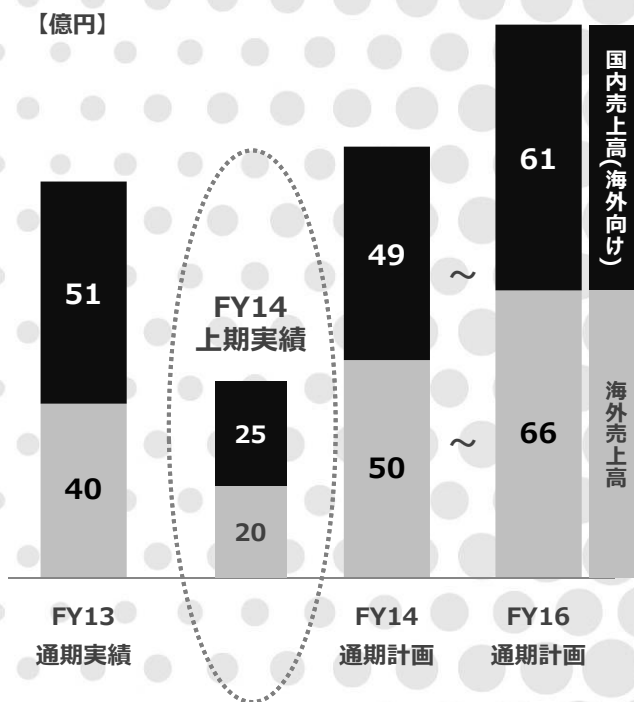
アダプティブラーニング：個人別理解度に応じた学習



イノラボ スポーツ&ライフテクノロジーラボ 実験スタジオ

**中計戦略**

中国・ASEAN地域を中心に、日系顧客に加えて、非日系顧客市場にもビジネスを拡大



- **グローバルビジネス開発本部新設 (4/1)**
- **金融ソリューション**
  - 欧米/中国/ASEANのメガバンク支援拡大
  - BANK・R中国版、リース業向け基幹システムパッケージ「Lamp」～非日系向け営業強化
- **インタープライズソリューション**
  - 現地設計コース・経営強化コースに対応
    - ～ アジアビジネス推進室設置-ASEANサポート強化
    - ～ ものづくり支援ソリューションの中国/ASEAN展開
    - ～ アジアで現地VOC分析サービス推進
    - ～ SAPデータ連携ツール「BusinessSPECTRE」SAP社のグローバル認定取得
- **コミュニケーションIT**
  - 電通との協業によるCRMソリューションの展開
  - O2Oプラットフォーム「+fooop! connect」～中国/ASEANの商業施設向け営業強化

VOC : Voice of Customer  
O2O : Online to Offline

## 中期経営計画

# ISiD Open Innovation 2016

## 『価値協創』

## Progress to the Future

ISiDグループは、本中期経営計画を、  
将来を見据えた『価値協創』のさらなる発展段階と位置づけ、  
新たなソリューションの開発に挑戦し、  
お客様や社会とともに未来を切り拓く。

# 主要プレスリリース＜2014年5月～10月＞

## 金融ソリューションセグメント

- 8/21 ライフネット生命にウェブ接客サービス「ライブエンゲージ」を提供
- 9/26 セブン銀行のネットバンキングサービスを再構築
- 10/9 みずほ銀行がウェブ接客サービス「ライブエンゲージ」を採用

## エンタープライズソリューションセグメント

- 5/23 国内初、大規模解析環境を自動構築するクラウドCAEサービスを開始
- 5/27 製造業の技術革新を支援するエンジニアリングサービス子会社を設立
- 6/19 豊田自動織機のグループ経営管理システムを構築
- 7/2 JTBグループの統合人事給与システムを「POSITIVE」で構築

## コミュニケーションITセグメント

- 5/9 東京国立博物館の特別展「キトラ古墳壁画」で会場玄関周辺だけで見られる特別映像をスマホに配信
- 9/17 電通とiSiD、新しい映像体験を創造するプロジェクトを始動
- 9/22 渋谷マークシティでiBeaconを活用したデジタルスタンプの試験運用がスタート
- 10/28 信州大学の災害時情報配信システムに「potaVee」を提供

## クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- 5/15 立命館守山とiSiD、クラウドとSNSを活用したアダプティブラーニングの実践プロジェクトをスタート
- 8/29 「スポーツ&ライフテクノロジーラボ」を発足し東大・暦本純一氏を招聘
- 9/30 大阪イノベーションハブと共同で街をもっと楽しくするアプリ開発ハッカソンを開催
- 10/3 iSiDとラピスセミコンダクタ、920MHz帯無線通信とBLEを用いたIoTインフラ『SynapSensor』を開発